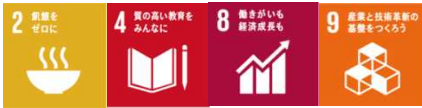


## 普及現地情報



発信年月日：令和3年(2021年)10月11日  
所属名：大津・南部農産普及課  
番号：A21008  
部門分類：430(地域・農村計画)  
発信者名：川村、三木、山田真寛

### 大津、栗東6集落営農法人での情報交換会

8月5日、当課は大津市と栗東市の6集落営農法人を対象とした情報交換会を開催しました。

大津の4集落営農法人(堂、牧、新免、関津)では集落役員の高齢化や、水稻・麦・大豆の収量低下の問題があることから、今年度から定期的な米・麦・大豆の技術的な支援を軸に、法人間の将来的な連携を模索するため情報交換会の場を重ねています。今回は将来的に専従者の雇用が必要になることも見据えて、当課が栗東の2集落営農法人(上砥山、六地藏)に声をかけ、6集落営農法人合同の情報交換会を開催しました。

情報交換会では、最初に専従者の雇用が行われている栗東の集落営農法人上砥山営農組合長からパワーポイントを用いて説明していただきました。当初はハローワークで人材を募集してもなかなか人が集まらなかった苦勞、被雇用者と法人役員との年齢差が離れている場合は、作業の出来、不出来に等ついて細かい口出しはせず、機械操作のマニュアル化がスムーズな作業習得のポイントになるなどのアドバイスがありました。また、若い雇用者への言動がパワハラにならないよう特に配慮が必要だとも話されました。

次にドローンを用いた防除に関して関津の法人の代表理事から説明があり、機械の取り扱いが簡易で法人の都合や作物の状態に合わせた防除ができるなどのメリットが紹介されました。

参加法人からは、専従者の雇用に実際に取り組んでいる現状を知ることができ、「課題となっている点が聞けて参考になった」、「雇用する側の準備や難しさを知った」との声が聞かれました。

当課では将来に向けた議論が深まるよう、引きつづき支援をしていきます。



上砥山営農組合長によるパワーポイントを用いた専従者雇用の事例紹介